

平成 26 年 7 月 11 日

上越市長 村山秀幸様

中郷区地域協議会長 岡田豊

### 防犯灯のLED化推進のための補助金制度創設に関する意見書

市長におかれましては、市民の安全と安心な暮らしの確保に日々ご尽力をいただき深く感謝申し上げます。

当地域協議会では、防犯灯のLED化の推進について、昨年から協議を重ねて来ました。

そうした中で、中郷区町内会長連絡会議から当地域協議会に、「防犯灯のLED化にかかる補助金制度の創設について(要望)」が、別紙のとおり提出されました。

こうしたことから、地球温暖化の抑制と電力料金の経費削減、地域住民の防犯意識の向上による犯罪の防止につながる防犯灯のLED化に対する補助金制度の創設について、意見書として提出します。

#### 記

1 上越市では、防犯灯の設置及び維持管理は町内会の負担とされています。このため、中郷区内の町内会では、ランプや点灯管の取り換え作業は、高所作業で危険が伴うため、電気工事業者に依頼しています。この維持管理に要する費用は町内会の大きな負担となっています。

現在の器具を、LED照明器具に取り換えることにより、ランプの長寿命化により、交換頻度が減少し、維持管理費用の削減につながります。

2 当市の防犯灯の電気料金については、市が負担しています。低電力で高輝度なLED照明に取り換えることによって、消費電力が減少します。市全体の防犯灯の数からすると、電気料金の削減額は相当な金額になると考えます。また、消費電力の低減は、環境対策でもあります。

3 当市には、現在、防犯灯のLED化を進めるための補助事業制度がないため、中郷区では、地域活動支援事業を利用して、防犯灯のLED化を進めている町内会があります。昨年度は1件、本年度は3件の申請がありました。しかし、本年度の3件は、採択基準により下位になったため不採択にしました。

地域活動支援事業は地域活性化につながる「まちづくり活動」に投資すべき予算であり、防犯灯のLED化が本事業の目的に合致するとは言い難いと考えます。

地域活動支援事業の予算は、地域の歴史や文化、地域の子供たちを育てる事業等々、地域の活力向上に向けた制度の趣旨に完全合致する事業に振り向けるべきです。

防犯灯のLED化は、別の補助事業を創設したうえで、各町内会に推進を促すべきと考えます。

4 LED照明器具は、一般家庭にも普及し、全国では防犯灯のLED化を推進するため、補助制度を設けている自治体が多くあります。県内の市では、上越市以外は何らかの補助制度を創設しています。

環境対策や防犯活動の推進を前面に掲げてきた上越市としても、防犯灯へのLED照明の普及促進を行い、地球温暖化の抑制と犯罪の防止、電力料金の経費削減に努めるべきと考えます。そのため、新たな補助金制度創設を提案するものです。

平成26年7月9日

中郷区地域協議会  
会長 岡田 豊 様

中郷区町内会長連絡会議  
会長 手塚 保 雄



防犯灯のLED化にかかる補助金制度の創設について（要望）

近年、各町内会が管理する防犯灯の老朽化が進み、維持管理費が高んできております。

そこで、一部の町内会でLED化を進める動きも見受けられますが、負担額が大きく、進捗状況は芳しくありません。

今年度も3町内会から地域活動支援事業にLED化の提案がなされましたが、いずれも採択基準の関係からランクが下位になり、不採択となったと聞いております。

地域活動の盛んな中郷区においては、地域活動支援事業で防犯灯のLED化を推し進めることは困難です。

新潟県内でも多くの自治体にLED化に対する補助金がありますが、上越市には未だに補助金制度がありません。

7月8日開催の中郷区町内会長連絡会議において、補助金制度創設について出席者全員の賛同があったことから、地球温暖化の抑制と犯罪防止、電気料金の経費削減につながる防犯灯のLED化にかかる補助金制度の創設について、市に働きかけていただきますよう切に要望いたします。